

東部支部巡検会報告：
仁科層群の枕状溶岩観察と化石採集

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-03-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 齊藤, 俊仁, 齊藤, 朗三, 増島, 淳 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00024754

東部支部巡検会報告

—仁科層群の枕状溶岩観察と化石採集—

齊藤 俊 仁・齊藤 朗 三・増 島 淳

1. はじめに

春休みが始まったばかりの2010年3月22日(月・春分の日)の代休、連日の悪天候が嘘のように晴れた一日、伊豆の仁科・松崎で、神奈川県立生命の星・地球博物館・外来研究員・門田真人氏を招き、会員10名・一般参加49名・地元協力者等4名、合計64名(女性15名)で巡検会を実施した。

当初は会員中心の観察会を予定したが、参加希望者が非常に少ないため、浜田会員の計らいで伊豆地域の地方新聞に巡検案内を掲載したり、齊藤俊・齊藤朗両会員が一般参加者を募ったところ急増し、最終的に59名に達した。年齢幅は12歳～88歳と広く、車による移動も不自由が予想されたので、講師と相談し観察地点を2地点にしぼり(図1)、途中で説明会を挟み、じっくりと観察・化石採集を行う事にした。

2. 一色枕状溶岩露頭観察と有孔虫石灰岩化石採集

伊豆半島に分布する最古の地層、仁科層群は下位より一色層・八重名野層・出合層・祢宜畑層からなり、出合層の年代はナンノ化石によって約1,700万年前とされている。

仁科層群は、水中自破碎溶岩・枕状溶岩・岩床・火砕岩・及び水底土石流堆積物などからなり、海底火山活動によるものである。

見学地は、海岸から仁科川を約4 km 遡ったところで左岸から合流する一色川を、さらに

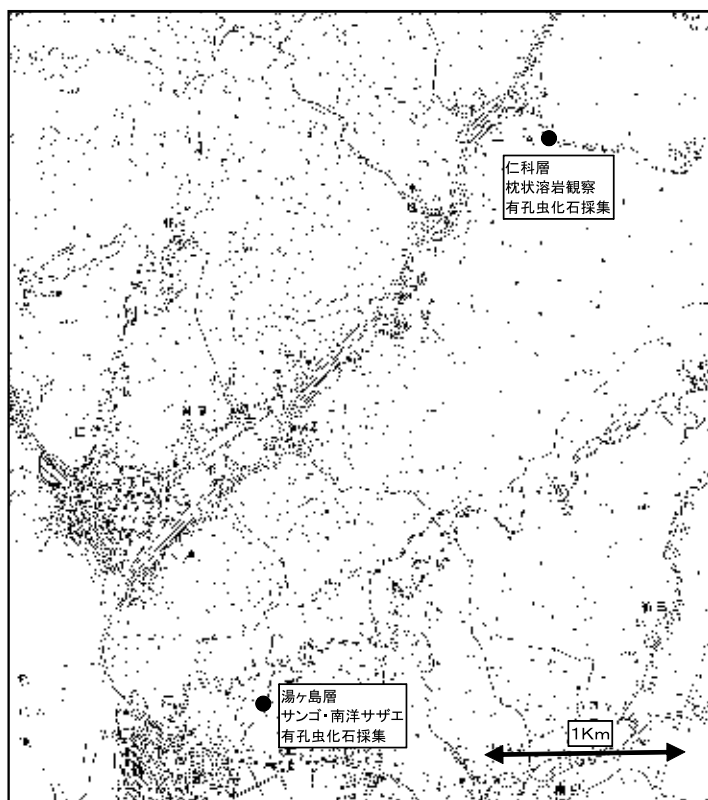


図1. 観察地点. 国土地理院1:25000地形図「仁科」に基づく。

300 m 遡った地点、仁科層群最下部の一色層中の枕状溶岩を観察した（図2）。年代は約2,000万年前と考えられている。

島弧性玄武岩からなる枕状溶岩には、揮発成分が抜けた後を、熱水成分が埋めた杏仁状構造が見られる。鉱物は主に緑泥石である。露頭の右寄りには、緻密な貫入岩も観察できる。門田講師は一般参加者に、わかりやすく説明した。

観察が終わった人は、露頭前の一色川に降り、湯ヶ島層の転石に含まれている有孔虫化石を観察・採集したが、化石が小粒でよく理解できないようだった（図3）。

集合地の天城湯ヶ島温泉会館を十数台の車に分乗（参加者の鈴木増信氏が事前に館長から一日無料駐車場の許可をとってくれた）出発した参加者は、幹事の不手際で途中バラバラになり、道に迷った車が多く出てしまい、現地到着には大きな時間差が生じた。

一色集落で合流した伊東方面からの参加者も合わせ約20台の車は、一色地区長のご厚意で、地区駐車場に止める事が出来た。門田講師には10時から11時30分にかけて、説明を4回繰り返していただいた。



図2. 仁科層・枕状溶岩の露頭、右側は貫入岩体。



図3. 一色川河床での有孔虫化石採集の様子。

3. 説明会

地元諸氏のご厚意で、松崎町観光協会二階が解放され、昼食・説明会を行った。

会場には門田氏や地元の方が採集した、湯ヶ島層や白浜層から産出した貝類・サンゴ類・コケムシ類の化石が特別展示された。下田市・藤井会員の立派なバクテン化石も含まれていた。函南町・月光天文台の五味氏・神田氏からは、同天文台発行の「地球からのメッセージ」と題する冊子が希望者に配布された。昼食後しばらくは展示物を観察したり、冊子を読んで過ごした。

皆が落ち着いた頃、門田講師がビデオとパワーポイントで伊豆半島の生い立ち・伊豆半島の化石・枕状溶岩などについて説明した。要旨は配付資料として参加者に渡してあったので十分理解されたものと思われる。説明終了後の質問時間には参加者から多数の質問があった。質問内容をほめる門田氏に優しい心遣いを感じた。

4. 江奈石灰岩化石採集

午後は松崎町の繁華街を抜け、地元の方のご厚意で車を駐車場に止めさせていただき、松崎高校北西の沢を徒歩で遡った。上流には湯ヶ島層江奈石灰岩の転石が堆積しているが、同時に壊れた電化製品などのゴミも堆積していた。しかし、地元の協力者（細田氏・宮部氏・内田氏）がゴミを事前に除去してくれてあり、気持ちよく化石採集を行う事が出来た。

参加者一同は、一時間以上化石採集に没頭した。皆ハンマーやタガネを使い石灰岩の転石を破碎し、ルーペで観察するなどしていたが、時間が経つに従い目が慣れて次々に南洋サザエ・サンゴ・有孔虫などの化石を見つけ採集した(図4)。その様子は静岡新聞の記事となり伊豆版に掲載された。カニの甲羅を採集した子供がいた。珍しい発見なので採集者の住所を尋ねると横浜市だった。

3時過ぎ終了の合図があり、駐車場に戻り、採集した化石を出し合い、門田氏に鑑定していただいた。3時40分アンケート用紙を回収し解散した(図5)。

5. まとめ

幹事の予想を遙かに超えた参加者数で、参加者全員に保険はかけたが、事故一つ無く終了でき、ほっとしたのが本心である。

門田講師や地元協力者諸氏による事前準備無しでは実施できなかつたと、本文をまとめながらつくづく思った。

実施した巡検結果は、回収したアンケート用紙に示されている。記入された内容を全部載せておいた。

今回の巡検は、好天に恵まれ、山歩きが少なかった事が、女性や高齢者が多い一般参加者には適していたのかもしれない。



図4. 江奈石灰岩化石採集の様子。

静岡地学会巡検アンケート		2010. 3. 22 実施				
伊豆松崎 仁科層群の枕状溶岩観察と化石採集						
参加者数	59人(会員10人)	アンケート対象者数	56人			
アンケート用紙配布数	46	回収数	31			
		回収率	67.4%			
1 性別	男 24	女	7			
2 年齢	~12歳	~15歳	~20歳	~40歳	~60歳	61歳以上
	1	0	0	5	3	22
3 巡検内容で良かったところに○を付けてください。(ご意見をお聞かせください)						
一色枕状溶岩	13	10時から11時30分にかけて説明4回実施(乗用車遅延のため)				
レクチャー	16	昼食後30分程度				
江奈石灰岩	16	化石採集、1時間程度実施				
境界不整合	<input checked="" type="checkbox"/>	中止				
貝殻石灰岩	<input checked="" type="checkbox"/>	中止				
境界不整合を見つかったです。						
枕状溶岩成り立ちよくわかりました。						
集合場所へ行く説明がほしかった(確認なしで出発してしまっ)。3時40分終了となったがこれくらいがちょうど良い。						
適当と思います。						
枕状溶岩がわかりやすくて良かった。						
石灰の多さに島国なんだと確認。						
サンゴ・有孔虫など小さくて見つげにくかった。						
やはり、2ヶ所位実施で、レクチャーが入る事で良いでしょうか。						
全部出来なかつたのが残念でした。またよろしくお願ひします。						
集合場所の中に仁科一色も入れてほしかった。静岡市から参加したので。						
十分に満足できる内容になりました。最後に省路されたので。						
オウムを探してみました。						
すぐおもしろかったです。また参加したい。						
頭ではわかっていても、実際してみるのとは異なり、こんなに探せるものなのかと感激しました。						
一ヶ所でじっくり良いと思います。						
4 巡検の日程はどうでしたか						
案だった	7	適当だった	20	きつかった	0	
5 今後参加するとしたらどんな内容に興味がありますか。○を付けてください(複数可)						
A 徒歩(山歩き)を中心とした地形・地質の観察会	17					
B 鉱物や化石の採集を中心とした観察会	17					
C 博物館見学などを盛り込んだ地質名所の観察会	14					
D 地質だけでなく、植物も含めた観察会	9					
E 伊豆ジオパークに関する地点の観察会	14					
F 流星群などの天体観察会	6					
G その他	化石実際に見て、サザエとか産があったり本当に驚いた。					
	歩くといっても長く歩かないで、車でいきたい。					
	地質に興味を持ち、若返りました。今後も行事に参加したいと思ひます。					
	移動時は大きな車、みんな乗って見学できないか。					
	お世話様でした。ありがとうございます。					
	ありがとうございます。					

図5. アンケート集計結果。

伊豆ジオパーク構想に関する興味・関心も高まりつつある様感じた。今後実施する巡検会で一般参加者を募集する場合には定員を設ける必要がある。

参加会員：井出（中部）、川平、齊藤俊、齊藤朗、高橋豊、浜田、藤井、舞木、三田、増島。